

## SSH通信

## SSつくば研修

2018.8.1 (水) ~3 (金) 希望生徒

## 9月の行事

9/8 わくわくサイエンス 希望者

9/15, 16 化学系学協会東北大会 代表生徒

9/19 日本金属学会 代表生徒



私が今回、このプログラムに参加して一番良かったと思うことは、日本の最先端技術を自分自身で見たり聞いたりできたことです。その一つであるCYBERDYNEではHAL@という支援型ロボットを開発していて実際にその仕組みを体験させていただきました。HAL@は、生体電子信号を外側から読み取ることで身体が不自由な人の動きを先陣きってサポートしてくれます。つまり、どんなに自分で動かさなくても動かしたいと願えば動かすことができるということです。実際に右手を左手で邪魔しつつ動かしたいと思うと、自分の思った通りに動いてくれて感動と興奮が止まりませんでした。

また、筑波大学にも行き三高OBの方々にも教えて頂きました。大学生活の他、就職のこと、進路の相談にも乗って頂き今後の自分の進路を考える上で大いに参考になりました。

このつくば研修は私にとってとても貴重な経験になりました。また、今後の道が広がりました。本当に得難いと思います。皆さんも是非参加してみてください！

(2年普通科 鈴木 涼介)

筑波研修は、各施設の研究についてグループで発表することを目的として行いました。研修内容は、生徒各自の事前調査、まとめや補講などの必要な知識の確認から始まり、研修を終えてのポスター作成を経て、最後のグループ発表となります。つくばでの3日間以外の活動期間が3カ月近くあることから分かるように最後のポスター発表に向けて、生徒たちは入念に準備を重ねます。筑波で学ぶとても高度な研究について理数科以外の生徒も交え、長期間の議論を行うのは本当に貴重で、充実したものでした。この研修は三高でしか経験できない貴重なものであり、今後の生活に十分に生きていくと思います。

(1年普通科 横澤 蓮)

## 信州総文祭 ~自然科学部門

2018.8.7 (火) ~9 (木) 代表生徒

## ●総文祭で得られた知見

私は、信州総文祭を通して、自然科学やそれに関する研究について、多くの知見を得ることができた。まず、私たちの研究の口頭発表では、12分の制限時間の中で、研究の成果を過不足なく明確に伝えることができたが、結果は優秀賞にとどまり、目標の最優秀賞には届かなかった。やはり、研究発表で評価を得るには、聴き手に分かりやすい表現がされているか、内容が聴き手の興味をひくものかどうかを意識することも必要であると考えた。一方、他の研究発表に関しては、自分が普段意識しないようなことをテーマとしているものもあり、非常に興味深かった。しかし、私の学習不足が目立ち、内容をよく理解できないこともしばしばあった。日頃の学習も疎かにせずに行いたい。

(2年理数科 佐藤 理来)



## 日本進化学会

2018.8.24 (金) 希望生徒

## ●進化学会を終えて

8月24日、進化学会がありました。進化学会とは、それぞれがポスターに研究結果をまとめ、発表しあう会です。

他校の発表を見て、様々な研究について学ぶことができ、大変面白かったです。実験方式などについて、参考にしたいと思いました。

自分達の発表については、自分達の研究や発表における欠点などを指摘してもらって、とても参考になりました。自分達の研究を見て名刺をくださった方もいて、嬉しく思いました。今後の研究の参考にしたいと思います。

この学会に参加して、学びある、有意義な時間を過ごすことができました。この経験を今後の研究にも役立てようと思います。

(1年理数科 中村 優月)

## Information

SSH課外活動は、理数科・普通科の別や学年を問わず本校生徒なら誰でも参加できるものがほとんどです。ぜひ、積極的に参加してください。

## 宮城県仙台第三高等学校

仙台市宮城野区鶴ヶ谷1-19

TEL 022(251)1246

FAX 022(251)1247

E-mail sensan@od.myswan.ed.jp